



飛翔

令和2年度 西津小学校
学校だより 第24号
令和3年2月22日



2月が逃げて、もうすぐ弥生3月です！

2月も残りわずかとなり、ようやく春の足音が聞こえてきました。今年の冬は例年になく積雪の日が何回かあり、暖かかったり、寒かったりして体調管理も難しかったですね。それでも3月の声が聞こえてくると、寒さも和らいで来たような気がします。昼の長さも少しずつ長くなっています。右の写真は今朝の登校時の風景ですが、前月号(1/29)の写真と比べると、明らかに日の出の位置が北寄りに移動しています。地球が地軸を傾けながら太陽の周りを公転しているのが、日常の風景からもわかります。日出後、太陽が右斜め上に昇っていくことを考えると、太陽が高く昇って昼の長さもだんだん長くなり、季節が変化していくことも納得できます。



なわとび大会で頑張る子どもたちの姿から…

2/18(木)には、今年度最後の体育的行事である校内なわとび大会を無観客で開催いたしました。全学年の子どもたちが8分間の持久とびに挑戦し、目標が達成できた子もいれば、練習の成果が発揮できずに悔しい思いをする子もいたようです。昨年度も同様の内容をお伝えしましたが、今回のなわとび大会を見ても、子どもたちの成功体験が自信を得ることにつながることを改めて感じました。「自己肯定感がある人は自分も大切に、他者の価値観も尊重することができる」と言われています。授業や学校行事などを通して様々な成功体験を得ることで自己肯定感をもつことができれば、友達との違いも受け入れながら、対話による協働的な学びを実現できるものと思います。一方、失敗したときはなかなか前を向いて進めないことがあります。「失敗は成功のもと」という諺もあれば、「失敗と書いて成長と読む」という野村克也さんの名言もあります。いずれも、失敗した原因をあきらかにして、それを次の機会につなげれば成長の糧になるということだと思えます。失敗を学びにつなげるためには、誰かに話を聞いてもらったり、一緒に考えてもらったり、最後まで見守ってもらったりすると前に進めるそうです。そうすることで、素直な気持ちで勇気をもって自分の失敗に向き合えるものだと思います。私たち大人が子どもたちと接するとき強く心がけるべき大切なことを教えてくれています。



新入生体験入学で1年生が大活躍！



2/17(水)には、この春入学予定の園児の皆さんが体験入学に来てくれました。1年生がホスト役となって西津小クイズや「西津をたたえる歌」の披露、学校探検やたから探し、スゴロク遊びなど、盛りだくさんの内容でした。自分たちも昨年抱いていた入学前の不安を少しでも解消しようと計画・準備段階から協力して取り組んでいたようです。思いやりと優しさあふれる取組が後輩たちに引き継がれていくことの大切さとその良さを感じずにはられません。



避難訓練「不審者対応教室」が行われました

2/9(金)には、小浜警察署から2名の署員とスクールサポーターに来ていただき、登下校時における不審者対応訓練を行いました。パワーポイントによるお話が続いて、見知らぬ人から声をかけられたり、写真を撮られたりした際を想定したロールプレイング(*表題横の写真です)を行いました。不審者から被害に遭わないための危機管理の意識が高まったようでした。

